

経営戦略の進捗

- 24 2022年度の活動ハイライト
- 25 経営戦略の変遷
- 27 経営戦略の概要
- 29 経営成績及び財務・資本政策
- 31 事業ポートフォリオ改革
- 34 マテリアリティ
- 35 マテリアリティ進捗一覧
- 37 事業展開と主な製品
- 39 機能化学品事業
- 43 基礎化学品事業
- 47 新規・次世代事業
- 49 研究開発
- 52 生産・環境
- 57 人的資本（人材・組織）



2022年度の活動ハイライト



2022年4月：韓国におけるポリアセタール樹脂 (POM)等販売会社の営業開始

差異化事業に位置付けるPOMのグループ体経営推進の一環として、ポリアセタール樹脂等を販売する韓国ポリアセタール社が営業を開始しました。



4月：半導体パッケージ用BT材料を製造するタイ子会社を増強

半導体需要に迅速に対応するため、BT材料を製造するMGCエレクトロテクノ(タイ)において、汎用材だけでなく高機能積層材料を高水準で製造する増強工事を完了しました。



5月：次世代プレフィルドシリンジ開発におけるベクトン・ディッキンソン社との業務提携協議を開始



当社が開発した多層構造のプラスチック製プレフィル用シリンジOXYCAPT™の更なる活用を推進するため、医療機器のリーディングカンパニーであるベクトン・ディッキンソン社との業務提携協議を開始しました。



6月：国内初、CO₂活用の環境循環型メタノールの社会実装について共同検討を開始

株式会社トクヤマと、同社の徳山製造所より排出されるCO₂と副生水素を原料として活用する環境循環型メタノールの製造・販売について、事業化検討を開始しました。



7月：光学樹脂ポリマー「ユピゼータ®EP」の新たなプラントを竣工

スマートフォンをはじめとする様々な高機能精密レンズに採用される光学樹脂ポリマー「ユピゼータ®EP」の生産能力増強のため、鹿島工場に3基目となる量産プラントを竣工しました。



8月：国内初となる廃プラスチックのガス化及びメタノール化実証事業を開始

流動床ガス化技術を有する株式会社神鋼環境ソリューション、廃プラスチックのケミカルリサイクルを推進する大栄環境株式会社及びDINS関西株式会社、水素製造・合成ガス製造技術を有する三菱化工機株式会社及び環境循環型メタノール構想を推進する当社の5社で、国内初のケミカルリサイクル技術の構築を目指し、2022年2月に共同実証プロジェクトを立ち上げました。同年8月には、本事業が環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」に採択されました。



8月：イノベーションセンター「MGC Commons」の建設に着工

当社グループの人材育成とイノベーション創出、情報発信に取り組む場、イノベーションセンター「MGC Commons」の建設に着工しました。2023年10月の稼働開始を目指しています。



10月：オーストラリアにてCO₂とグリーン水素を活用した環境循環型メタノール事業の共同検討を開始



セメントオーストラリア社と回収CO₂とグリーン水素を原料としたメタノール製造・販売の事業化に向けて検討を開始しました。オーストラリア、クイーンズランド州グラッドストーン地域の再生可能エネルギー由来の電力により生成される水素を活用し、グリーン製品の事業化を検討するとともに、官民産業横断的な取り組みを進める予定です。



11月：水素ステーション及び燃料電池フォークリフトの運用を開始

新潟工場で建設していた水素ステーションが完成し、水素を使った燃料電池フォークリフトの運用を開始しました。



12月：MXナイロンでISCC PLUS認証を取得

新潟工場で生産するMXナイロンについて、持続可能な製品の国際的な認証制度の一つであるISCC PLUS認証*1を取得しました。ISCC PLUS認証に基づいたマスバランス方式*2によるMXナイロンの製造・販売を開始します。

*1 ISCC(International Sustainability and Carbon Certification)が展開するISCC PLUS認証は、原材料が持続可能であることを、グローバルなサプライチェーン上で管理・担保する国際認証

*2 製造工程において、持続可能な特性を持った原料(例:バイオマス由来原料)と持続可能でない原料(例:石油由来原料)を混合して製品を製造する場合に、持続可能な原料の投入量に応じて、製品の一部に持続可能性を割り当てる手法



2023年1月：リサイクル炭素繊維事業会社への出資

使用済み炭素繊維強化プラスチックの再資源化を推進するため、新明和工業株式会社と共同で、リサイクル炭素繊維事業を行う富士デザイン株式会社への出資を実施しました。



2月：バイオマスポリカーボネート製品の生産・販売に向けた取り組みを開始

三井化学株式会社のバイオマス原料を使用したポリカーボネート樹脂「ユピロン®」の生産・販売に向けた取り組みを開始しました。



3月：網走バイオマス発電所3号機の営業運転を開始

当社が出資する北海道の網走バイオマス発電所3号機が営業運転を開始しました。2022年10月に営業運転を開始した2号機と合わせて19,800kWの出力規模になりました。



3月：CDPのサプライヤー・エンゲージメント評価で最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー2022」に選定

英国を拠点とする国際的な環境調査・情報開示を行う非営利団体CDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価に当たる「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

